

2022年度植物工場研修

研修No8

スマートグリーンハウスにおけるキュウリ栽培の理論と実技

第1回		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
10/12	水				そもそもキュウリとは	キュウリの品種育成の現状と今後の情勢	病害虫の防除
			受付：12:30~(予定) 開講式：12:45~ 挨拶 受講案内		・原産と来歴 ・日本での生産状況 ・栽培方法 ・かっぱランドシステムについて	・品目としてのキュウリの変遷 ・今後目指すべき植物工場養液栽培における品種の方向性	・病害虫の基礎知識 ・病害虫の防除技術
			千葉大学名誉教授 篠原温		元三菱ケミカルアグリドリーム 稲山光男	ときわ研究場 竹内伸良	千葉大学 宇佐見俊行
10/13	木	生育診断方法の考え方	装置と栽培管理の基本		実習		養液栽培の基礎
		・生育ステージ別 ・診断後の対応について ・作型と品種	三菱ケミカルアクア・ソリューションズのキュウリ養液栽培システム		【栽培管理】 ・播種 ・育苗 ・栽培管理(摘芯・つる下ろし 確認) ・生育診断調査		・養液栽培とは ・栽培装置 ・給液システム ・培養液管理
		千葉大学 中野明正	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ 村岡 修一		NPO植物工場研究会 布村伊		千葉大学 塚越覚
10/14	金	育苗技術	環境要素の計測と制御技術		キュウリの多収生産技術	ポストハーベスト	※第1回は、「まとめ・質疑応答」の時間はありません。 各講義内でご質問ください。
		育苗の重要性と良苗 育苗培地の特性 育苗管理の注意点	日射と長波放射 被覆資材 暖房、保温、冷房（高温対策）		・キュウリの栽培特性 ・環境制御の考え方 ・多収生産技術と環境制御 収量構成要素、受光量の向上 光利用効率	流通について 加工や業務用への対応	
		植物工場研究会 布村伊	東海大学名誉教授 林真紀夫		農研機構 安東赫	千葉大学 櫻井清一	
第2回		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
11/9	水				キュウリで高収量(40t~50t/10a)を実現するための養液土耕栽培	施設園芸の経営	JA西三河きゅうり部会のスマート農業への取組
			受付：12:45~(予定)		・日射比例養液土耕栽培 ・環境制御（地上部、地下部） <Web講義>	大規模経営で特に問題となる課題、人材育成や組織運営の優良事例紹介、人材育成のためのポイント	・産地の現状 ・ICTを活用した産地の生産性向上 など
					北部九州胡瓜研究会会長 山口仁司	農研機構 田口光弘	JA西三河きゅうり部会 下村堅二
11/10	木	実習			培養液管理	研修ハウスの環境制御	生育診断
		【栽培管理】 ・収穫 ・摘芯 ・摘葉 ・つる下ろし ・接ぎ木 ・生育診断調査 開花節位など			培養液管理による成長コントロール	キュウリ研修で見える化した情報をみんなで議論しよう	生育診断： 科学的根拠を更に加えてみる
		NPO植物工場研究会 布村伊			千葉大学 塚越覚	千葉大学 中野明正	
11/11	金	太陽光型植物工場の比較検討（講義と見学）			まとめ・質疑応答	修了式	
		「ハウス構造」・「養液栽培システム」・「環境制御」の様式と実際 ※詳細は下記など（ハウス環境モニター説明を含む）			ZOOM参加 山口氏(北部九州胡瓜研究会会長)	~15:00（予定） 修了証書授与	
		NPO植物工場研究会・元千葉大学 丸尾達			講師複数名	千葉大学名誉教授 篠原温	

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします